

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 26 年 6 月 13 日現在

機関番号：13102

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2009～2013

課題番号：21720094

研究課題名(和文) 環太平洋文学におけるアメリカ女性詩人 その全体像の構築をめざして

研究課題名(英文) Contemporary American Woman Poets in the Pacific Rim Literature: seeking for constructing its overall

研究代表者

高橋 綾子 (TAKAHASHI, Ayako)

長岡技術科学大学・工学部・准教授

研究者番号：30435416

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,400,000円、(間接経費) 1,020,000円

研究成果の概要(和文)：本研究目的は、男性中心であった環太平洋文学研究において、女性詩人に着目し、全体像を構築することにある。アン・ウォールドマン、ダイアン・ディプリマ、ジョアン・カイガー、ジェーン・ハーシュフィールドの4人の女性詩人研究の成果として、24年度において、翻訳、インタビュー、年譜を収録した『現代アメリカ女性詩集』を出版することができた。四人の女性詩人の翻訳出版は、本邦初であったこともあり、研究成果を広く一般読者に紹介することができた。

研究成果の概要(英文)："Contemporary American Woman Poets in the Pacific Rim Literature: seeking for constructing its overall," as the title suggests, offers an exploration into reconstructing the Pacific Rim Literature, which had represented men poets including Gary Snyder and Allen Ginsberg and focuses on women poets. Selecting four women poets, Anne Waldman, Daine, Di Prima, Joanne Kyger and Jane Hirshfield, I chose about ten poems per poet and translated and added annotations. Further, by researching in California and Colorado, I could record their interviews. The interview was edited and translated. In 2014, I could publish the book, The Anthology of Contemporary American Woman poets, Anne Waldman, Daine, Di Prima, Joanne Kyger and Jane Hirshfield, including translations, interviews, and bibliography. The book contributes to not only the first translation of four women poets in Japan, but also announcement for the result of the research publicly.

研究分野：英語・英語圏文学

科研費の分科・細目：若手研究(B)

キーワード：環太平洋文学 ピート ジェンダー 仏教 アメリカ現代女性詩人 俳句文学

1. 研究開始当初の背景

ゲーリー・スナイダーに代表され、男性中心の文学運動として研究されてきた。これまで、ビートジェネレーションの男性作家や詩人の活躍は「光」であり、女性は「影」として扱われ、本格的な研究はまだ十分になされていない。よって、本研究では主に男性に焦点があてられることが多かった研究を土台にし、これまで「影」として扱われてきた女性詩人に着目することにより、環太平洋的な視点、ビートにおけるジェンダーなどの観点から、環太平洋文学の全体像を構築・検証することを目的とする。

2. 研究の目的

本研究の目的は、これまでゲーリー・スナイダー、アレン・ギンズバーグなど男性が中心であった環太平洋文学（現代詩）研究に、女性詩人に着目し当時のアメリカ文化に照らし合わせ検証することにより、環太平洋文学の全体像を構築・検証することを目的とする。

3. 研究の方法

環太平洋文学、ビート、ジェンダーの視点で、4人の詩人の作品分析、現地調査、選詩集を作成する。題材は、アン・ウォールドマン、ジョアン・カイガー、ダイアン・ディプリマ、ジェーン・ハーシュフィールドのすべての作品を扱う。研究上工夫をしたことは、以下の通りである。

サンフランシスコポエトリーセンター調査、フランスコルネサンスの調査、サンフランシスコと環太平洋文学の関係の調査・研究、ナロパ大学調査と一次資料の収集、詩人の調査のため、コロラド州ボルダー、カリフォルニア州ポリナス、UCディヴィス、ニューヨークを訪問し、インタビューを実施した。電子メールを活用して、4人の詩人に研究成果の妥当性を検討してもらった。

4. 研究成果

全体計画として、環太平洋文学、ビート、ジェンダーの視点で4人の詩人の作品分析、現地調査、選詩集を出版することを設定した。21年度は時間的な制約もあり、22年度以降選詩集を出版するための起案書作成を重点的に行った。起案書は、選詩集の抜粋となる縮小版の選詩集である。起案書作成については、研究方針に従い4人の詩人の基本資料及び一次資料の収集し、作品分析を研究協力者の小川聡子とともにいった。この過程で、4人の詩人に研究目的、研究計画を説明し、研究協力を請うことができ、また、起案書作成にも協力いただいた。これまでの研究活動を通して起案書が完成することができた。研究再開以後、出版社を確定し、実際の選詩集作成のための、作品分析、現地調査を行うこととなる。今年度は、現地調査を行うことができなかったが、研究再開以後、現地調査と詩

人に対するインタビューを行い、選詩集完成に向けて研究計画を遂行した。

22年度は、4人の詩人の作品分析と調査検討および翻訳を蓄積した。共立女子大学非常勤講師の小川聡子氏の研究協力を得て進めることができた。翻訳の検討については、独協大学の原成吉教授のゼミナールの夏合宿に参加し、他の参加者より貴重な意見を頂戴することができ、翻訳原稿に反映することが可能となった。また選詩集に収めるインタビューについては、研究協力者の小川聡子氏がサンフランシスコのダイアン・ディプリマの自宅を訪問し収録することができた。現在印刷中であり、今後選詩集を作成するための翻訳原稿は、115ページ分まで蓄積することができた。

23年度は、4人の女性詩人の作品分析、現地調査、インタビュー収録を継続し、選詩集印刷、出版するための研究計画を遂行した。今年度はさらに翻訳作品や研究を蓄積した。アン・ウォールドマン、ジョアン・カイガー、ジェーン・ハーシュフィールドへ謝金を活用し、インタビューを収録することができた。アン・ウォールドマンについては、コロラド州ナロパ大学で、研究協力者の小川聡子によってインタビューを収録することができた。ジョアン・カイガーとジェーン・ハーシュフィールドは謝金を活用し、電子メールによって、インタビューを収録することができた。

4人の女性詩人と関係が深く、環太平洋文学を男性の立場で実践してきたアメリカ現代詩人のゲーリー・スナイダーを招聘し、同じく環太平洋文学を男性の立場で日本において実践してきている谷川俊太郎との詩の朗読会を10月29日、明治安田生命ホールにて開催した。朗読会の前後に、スナイダー氏へ環太平洋文学および女性詩人について、謝金を活用し、インタビューを行った。収録したものは、選詩集に収める原稿とした。スナイダー氏へのインタビューは環太平洋文学の検証において、大変貴重な資料となった。

4人の女性詩人の作品分析と翻訳を遂行するために、研究協力者の小川聡子と引き続き、研究打合せをもち、研究協議を重ねた。アメリカ文学会中部支部大会において、研究成果を発表した。研究成果は、学会誌に投稿した。3月25日『現代アメリカ女性詩集』というタイトルで思潮社より、研究成果を出版することができた。

24年度は、出版した『現代アメリカ女性詩集』を検証した。検証を行う経緯は以下のとおりである。『現代アメリカ女性詩集』では、アン・ウォールドマン、ダイアン・ディプリマ、ジョアン・カイガー、ジェーン・ハーシュフィールドの4人の翻訳、インタビュー、年譜を収録した。4人の女性詩人の翻訳出版は、本邦初であったこともあり、研究成果を広く一般読者に紹介することが大きな目的であっ

た。この成果を踏まえ、検証の段階では、当初の研究計画に従い、4人に共通する要素である、ジェンダー、仏教、ビート文学の観点で作品分析を行う必要があった。そのために、フェミニスト研究およびビート女性文学に関する資料収集と文献調査を行うことが必要となった。4人の女性詩人に加え、ビート女性文学の第一世代である、ヘレン・アダムの作品と、デニス・レバトフに着目し、4人の詩人の作品との共通点を考察した。作品分析を行う中で、50年代から70年代にかけて、共通する視点つまり男性コミュニティの価値観を容認する傾向があることが判明した。80点台以降はフェミニズムの影響を受け、変化し、90年代に至って、ジェンダーを越えた「いのちの視点」へと変化する詩の傾向を前景化した。作成した論文「環太平洋文学における女性詩人の詩学」は、シルフェ英語英米文学学会紀要『シルフェ52号』に投稿し、掲載された。

24年度の課題として、環太平洋文学の特徴について、これまでの男性詩人の活躍とあわせ、環太平洋文学の全体像を構築できるよう検証を行う必要性であった。

25年度は、本研究の総括として、24年度の成果である「環太平洋文学における女性詩人の詩学」において検証された新たな課題である、アメリカ女性詩人の第一期ヘレン・アダム、第二期のヘッティ・ジョーンズ、第三期のジャミ・ポミー・ヴェーガの作品分析を行った。サンフランシスコ在住のジョアン・カイガーとジェーン・ハーシュフィールドを訪ね、出版した著書の内容について、検討を行うと同時に、謝金を活用して、インタヴューを収録した。インタヴューの内容は、ジョアン・カイガーについては、再定住や詩学、ジェーン・ハーシュフィールドについては、事物と想念の親和性、日本文学特に松尾芭蕉へのまなざしについてであった。インタヴューの内容は、環境詩学と環太平洋文学の発展に資する内容となった。インタヴュー原稿の作成に関しては、さらに謝金を活用した。研究協力者の小川聡子は、勤務先の講義で、『現代アメリカ女性詩集』をとりあげ、学生から評価をえていたことが報告された。環太平洋文学における新たな課題の一つである俳句文学について文献収集、検証を行い、国際文化表現学会第10回記念全国大会において、「アメリカ詩人における俳句(Haiku)受容」について研究発表をおこなった。研究目的は、現代アメリカ詩において、俳句がどのように受容されてきたか、その系譜について、黎明期、英語俳句の形成期、現在の多様期と時系列に検証し、最終的にアメリカにおいて俳句がどのような受容され、現代アメリカ詩にどのような影響を与えているのかを考察することにあ

る。考察の結果、俳句の黎明期においては、ハロルド・ヘンダーソン、ケネス・ヤスダ、ブライスの翻訳が翻訳ハイクとして英語圏にもたらされた。英語俳句形成期において、ブライスの影響を受けた、ジャック・ケルアックやリチャード・ライトの翻訳が後世に影響を与え、英語俳句がポップなものとして伝播しながら、アメリカ文化に根差した作品が生まれ出されるようになった。同時に、俳句がカウンターカルチャーとして受容され、ゲーリー・スナイダーは、英語俳句形成に大きな影響を与えながらも、彼自身はある一定期間のみ俳句を書き、その後は詩人として自然や環境保護に関わる創作をしてきたことは特筆すべき事実である。

アメリカ現代詩においては、俳句の形式だけが受容されているだけでなく、俳句の再解釈再評価が行われ、アメリカ現代詩におけるネイチャーポエトリーや広く環境詩に影響を与えている。現在は、ハイクはbaseball haikuというジャンルを生んでいるように、変化し続ける文学形式である。俳句現在進化し続ける文学形式であり、インタラクティブな文化交流の象徴である。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計4件)

高橋 綾子 ポーの視覚的イメージとアメリカ現代詩、ポー研究、第四号、査読有、2012、52 - 63

高橋 綾子 ジョアン・カイガーの『タペストリーと織物』、国際文化研究、査読有、第6号、2012、223 - 240

高橋 綾子 ジェーン・ハーシュフィールド翻訳詩、POETRY KANTO、査読有、No.27、2011、124 - 127

高橋 綾子 日本におけるゲーリー・スナイダーの受容と異化 1980年から2004年、国際文化表現研究、査読有、第6号、2010、145-153

[学会発表](計6件)

高橋 綾子 日本におけるゲーリー・スナイダーの受容と異化 1980年から2004年、国際文化表現学会、平成21年5月9日、日本大学国際関係学部

高橋 綾子 アメリカコロラド州ナロバ大学における環境教育、公益財団法人クリタ水・環境科学振興財団表彰式、2010年8月27日、京王プラザホテル

高橋 綾子 ジョアン・カイガーの『タペストリーと織物』、アメリカ文学会第28回中部支部大会、2011年4月24日、愛知淑徳大学星が丘キャンパス

研究者番号：

(3)連携研究者 なし
()

高橋 綾子 ポーの視覚的イメージとアメリカ現代詩、日本ポー学会第四回年次大会シンポジウム、2011年9月17日、津田塾大学

研究者番号：

高橋 綾子 ゲーリー・スナイダー作品における仏教解釈を巡って、第18回ASLE-Japan/文学環境学会全国大会シンポジウム、2012年8月31日、近畿大学本部キャンパス

高橋 綾子 アメリカ詩人における俳句(Haiku)受容、国際文化表現学会第10回記念全国大会、2014年5月10日、日本大学国産関係学部北口校舎山田顕義ホール

〔図書〕(計1件)

高橋 綾子・小川聡子 思潮社 現代アメリカ女性詩集 2013 206

〔産業財産権〕

出願状況(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等
なし

6. 研究組織

(1)研究代表者

高橋 綾子 (TAKAHASHI, Ayako)
長岡技術科学大学工学部 准教授
研究者番号：30435416

(2)研究分担者 なし

()